15

鳴り響くサイレンの音と

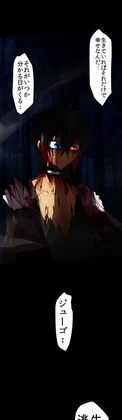
むせかえるような何かの匂い

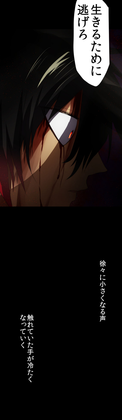
光る無数のライト

鳴り響くサイレン

光るライト

むせかえるような
この…





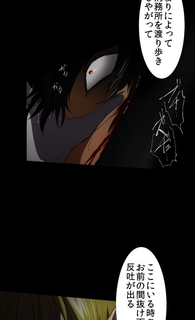
徐々にかすれてくる声

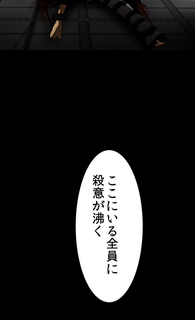
触れていた手が冷たくなっていく

鼻水をスアンプは
「ヒヨコ人」と言っていた

NANBAKA

第62話 しあわせのかたち





まぁそれはそれとして
とりあえずの仕事を
先に終わらすかな

お前の『脳』を
持ち帰るだけなんだけど

ぐしっ

上手くいくか
わかんねぇなぁ

そうだ
もっと楽な方法が
あるじゃん

(カチャ)

人間の頭って
それなり重いし
首から上じゃ
ちょっとだるいし

ぐしっ

これでよし

「それぞれ節毎に切りたいからな」

切断方法

奇怪な四肢が持つ歯形がいいんだから

目かなんかとかいうやつだけ上あごかなんかは換ちかが載ってるとこちゃん

なんだ、あれ？

怖いわ

身体も筋肉も呼吸も筋肉にて

変なのが、そんなに嫌かのか？

あの時はそんなの顔も筋肉もなかったのに

大丈夫だって！侵略者が お前の細胞は 便利に使ってやる

殺される

殺される

殺される

殺される

生きろ

傷が

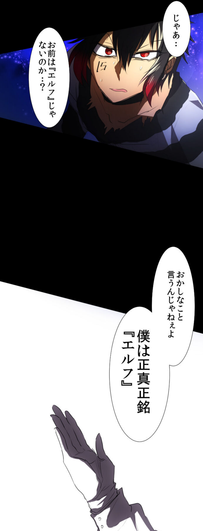
たしかに『傷み』があった

たしかに『血』が流れていた

ムサシ？
とぼけるな・・・
６３４番のことだ
アイツだって俺と同じだ
お前らの実験の道具にされて欲しくないカネを手に入れて・・・
お前と傷の男のせいでアイツは苦しんでたんだ・・・！

はあ？

てめぇさっきから何言ってんだよ？
僕はそんな検体知らねぇよ
余計な恨み言までクソッたくれんなよ


じゃあ・・・
お前はエルフじゃないのかよ？

おかしなこと言うんじゃねぇよ
僕は正真正銘『エルフ』
君の担当をしていた『エルフ』だ

どういうことだ

僕等の目的なんて検体のお前が知る必要なんてねぇんだよ
お前らは僕等のモルモットとして命を使えばいい
でも一つだけ教えてやるならばここに来た理由は
お前の現状確認と
新しい人間の採取だ
お前の周りには面白い奴らが沢山いるらしいからな
いい『肉』として使えるかもしれねぇだろ？
あいつらが…
なんで…
どうして…!!
そんなこと
そんなことさせてたまるか!!

絶対にさせない：

絶対に…!!

ストップ

お前と僕の記憶もぐちゃぐちゃでどっちも話がかみ合わない

そんなもん振り回されたらあぶねーだろ

今日は一旦帰ろわ

それに

お前のその表情を見て

もっといいことを思いついた

だから今日はここまで

じゃあな

いつかまた

お前に会いにいく

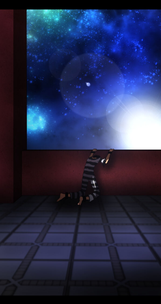
お前に与える

絶望の種と

命の水

また

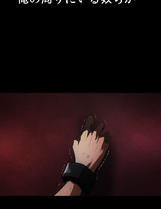
会いにいく



あいつらの目的は俺だけじゃない

『俺達』
囚人

俺の周りにいる奴らが・・・



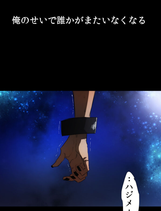
あいつらに狙われる・・・

そんなの・・・

オイ

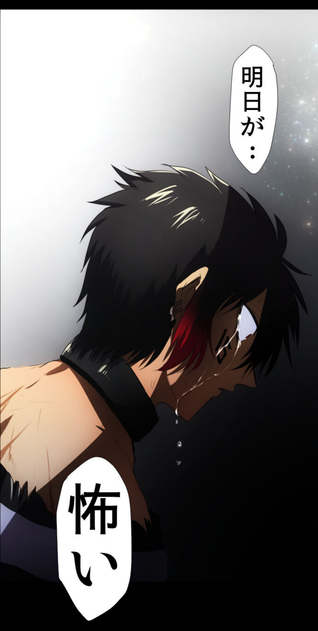
嫌だ

俺のせいで誰かがまたいなくなる



生きたほうがいいのか

死んだほうがいいのか



俺はいつも迷ってばかりだ

みんなでお祭りに行ってたんだよ
ちょっと音の出ない花火に行ってたんだ
だってルーガが「神社だけ」
なんで連れて来なかったんだ
ずっと思いっきりこの日は生まれてきてよかったと
まあ時つぶしにしてもいいかなと
だからもうルーガ様様さ
一応公式上は監視役を務めれるし
まったく空っぽの人生は面白いかみなくっ
まるで一日分で「人間」を作ってるようだ
これからもっと面白くなるっ
楽しみ楽しみ♪
開演

続く